

輸入検疫で発見された主な病虫害

昭和59年に輸入検査申請のあった植物類は、840千件で前年に比較するとやや増加している。このうちで病虫害付着のために消毒措置を行ったものが143千件、廃棄処分は9千件であった。

輸入禁止品は年間55,251件で、すべて廃棄処分にした。生果実類が最も多く、これら輸入禁止品からは、わが国が侵入を最も恐れている、チチュカイミバエ(4件)、ウリミバエ(11件)、ミカンコミバエ(228件)、アリモドキゾウムシ(8件)、コドリノガ(2件)、クインスランドミバエ(1件)、イモゾウムシ(1件)が発見された。また、この他に発見されたわが国未記録の病虫害で主なものは、別表の通りである。

発見病虫害	寄主植物別発見回数	輸出国別発見回数
〈害 虫〉		
<i>Dendroctonus ponderosae</i> (アメリカマツノキクイムシ)	マツ類(5)	アメリカ(9)
<i>Dendroctonus brevicornis</i> (アメリカマツノコクイムシ)	マツ類(1)	アメリカ(1)
<i>Scolytus scolytus</i> (ヨーロッパノコギリクイムシ)	ケヤキ(2) ニ レ(2)	ベルギー(2) イギリス(1)、フランス(1)
<i>Scolytus multistriatus</i> (セシジクイムシ)	ニ レ(2)	イギリス(2)
<i>Anastrepha fraterculus</i> (ミナミアメリカミバエ)	マンゴウ生果実(1)	コロンビア(1)
<i>Anastrepha ludens</i> (メキシコミバエ)	グレープフルーツ生果実(1)	メキシコ(1)
<i>Otiorynchus sulcatus</i> (キンケウチフトゾウムシ)	アステイルベ苗(1) カエデ(1) オランダユリ球根(1)	イギリス(1) アメリカ(1) オランダ(1)
<i>Pantomorus cervinus</i> (フラーバラゾウムシ)	ブドウ生果実(1) アンスリウム切花(1)	ニュージーランド(1) アメリカ(1)
<i>Hypera postica</i> (マルファルファタコゾウムシ)	タマネギ(1) マツ類(1)	アメリカ(2)
<i>Diabrotica undecimpunctata</i> (ジュウイチホシウリハムシ)	レタス(1)	アメリカ(1)
〈病 菌〉		
<i>Colletotrichum capsici</i>	トウガラシ生果実 トウガラシ乾果 トウガラシ種子	タイ(1)、韓国(1)、インドネシア(1)、マレーシア(1)、台湾(1)、シンガポール(1)、パキスタン(1)、フィリピン(1)、インド(1) タイ(1) 韓国(1)

海外のニュース

ブドウの芽を暴食しだしたハムシ

カリフォルニア州では、土着のハムシ (grape bud beetle: *Glyptocelis squamulata* Crotch) がブドウの芽を食害することは知られていたが、その被害はごくまれであった。ところが、谷間のブドウ園で最近被害が増し、時に80%もの被害を受けるようになった。＊ このハムシも、その近縁種も日本にいないが、しいて言えばヨモギハムシ *Chrysolina angusticollis* (Motch.) などのブルーブ(亜科)に含まれる。年1化性で、卵はブドウの樹皮下などに産下される。幼虫がふ化するとすぐに落下し、地中に潜ってブドウの根に達し、それを食害して成長する。成虫は春に土中から羽化して、ブドウの芽や花芽を食害する。成虫の移動力が小さいので、被害は局部的に起っているという。現在のところ生物的防除は行われておらず、2年にまたがる薬剤防除計画によって発生を抑えているようである。

以上がこの虫の状況であるが、その害虫としての地位は、本誌に連載されている「各地で話題の

病虫害」でとりあげられてきたものによく似ている。この虫は、アメリカ合衆国の最近の害虫各論書でも紹介されていない。これは、この虫の加害の程度がこれまで低かったこと、移動力が小さいので被害が局限されていたところから、合衆国全体から見た害虫としては評価が低かったことによるものと考えられる。しかし、この虫が日本のブドウ・ワイン生産地に定着した場合を想定するとやはり検疫による侵入防止の重要性を考えざるを得ない。この虫のように虫自体の移動力の小さいものにあつては、特に人間による植物や物資の移動がその分布拡大にチャンスを与えることに留意しておくべきであろう。(害虫課 渡辺 直)

＊California Agriculture (1984) 38 (5/6).

発行所 横浜植物防疫所
〒231 横浜市中区北仲通5-57(横浜農林水産合同庁舎) ☎045(211)2299
発行人 池上 雍 春
編集責任者 北 島 克 己
印刷所 保土ヶ谷印刷株式会社
横浜市中区北方町2-96 ☎045(621)3347